⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪特許出願公開

@ 公 開 特 許 公 報 (A) 平4-177525

@lnt. Cl. 5

識別記号

庁内整理番号

個公開 平成 4年(1992)6月24日

3/153 G 06 F

333 B

9188-5B

審查請求 未請求 請求項の数 1 (全6頁)

切替器 会発明の名称:

> 頭 平2-304746 ②特

平2(1990)11月9日 ②出

明 冗発

東京都千代田区内奉町1丁目1番6号 日本電信電話株式

会社内

明 @発

重

東京都千代田区内幸町1丁目1番6号

日本電信電話株式

会社内

の出 題 日本電信電話株式会社

弁理士 志賀 富士弥 理 人

東京都千代田区内幸町1丁目1番6号

1. 発明の名称

切替器

2. 传許請求の範囲

(1) 表示装置と入力機器の入出力端子を有する 複数組の情報処理部と、これより少ない組数の表 示装置と入力振器からなる周辺機器とを任意に接 続して、該周辺装器の最大組数までの数のコンピ ュータシステムを構成可能にする切容器であって、 前記周辺极器に対応して設けられ前記情報処理 郎から任意の一つを選択する切替スイッチポタン

複数の前記切替スイッチボタンからの選択信号 を受け同一の前記情報処理部が選択されたときに 一つの該選択信号に限定する規制回路と、

前記規制回路からの選択信号を受け前記周辺協 器に対応して一つの情報処理部を選択する選択回 路と、

前記選択回路に対応する前記周辺振器が接続可 能とする情報処理部に対応して設けられ該選択回 路の信号を受けて該情報処理部の入出力端子を同 時に該周辺振器に切り替え接紙する切替回路と、

を具備することを特徴とする切替器。

3. 発明の詳細な説明・

[産業上の利用分野]

本発明は、複数組の情報処理部とそれより少な い複数組の周辺機器との間で接続を切り替えて、 一組のコンピュータシステムを周辺接器の組数ま で構成できるようにする切替器に関するものであ る。

[従来の技術]

パーソナルコンピュータ等のコンピュータシス テムは、中央処理装置や記憶装置などを持つ情報 処理部(以下CPUという)と入出力を行うキー ボード、マウス、表示装置などの周辺機器から構 成される。パーソナルコンピュータでは、第2図 に示すように、抜数組(図例では3組)のCPU 1. 2. 3に対し、それより少ない複数(図例で は2組)の表示装置4,5で構成し、切容器6を それらの間に、設けて、特定のCPUと所望の表 示無置との切り替え接続がなされ場合がある。

このような従来例の動作において、切牾スイッチポタンの一つを押すと、それに対応したゲート開閉制御線、例えばボタンB nを押すと 1 / 3 選択制御回路 6 3 により対応したゲート開閉制御線 G nにゲート開閉信号が出力される。 この信号によりアナログスイッチ S nnが陥さ、C P U) の

画像信号が竣子CiiからSii1を通り画像信号の 増稿器 6] により表示装置 4 に出力される。 たお B.n. B.n. B.nのボタンを誤って同時に二つ以 上押しても1/3選択制御回路63により、ゲー ト期期制御線で,1. G22. G2,に対しゲート開閉 信号はその一つのみに出力される。同様にして芸 示装置4には、切替スイッチポタンBii、Biiに 対応したCPV2.CPV3の画像信号出力端子 C.12, C.1からの画像信号を画面に表示すること が可能となっている。上記の切替スイッチボタン Bィー・Baiにはロック式又はノンロック式のいず れを用いてもよく、ノンロック式の場合にはその 状態を保持する媒能を1/3選択制御回路 €3に 特たせることが通常行われている。 以上は、表示 装置 5 順についても全く 同様であり、切替スイッ チポタンBsi, Bs2, Bs3の操作で、CPUI, CPU2, CPU3の一つの画像信号を表示装置 5の画面に長示することができる。

なお、キーポードやマウス等の入力機器は、従 来、CPUと一体のものとして考えられ、CPU

にくくり付けの構成となっていた。

[発明が解決しようとする課題]

しかしながら、上記世来の技術における切替器6では、表示装置4、5のみを切り替え接続するものであり、キーボードやマウスを切り替え接続することができないため、パーソナルコンピュータの制御操作は、表示装置4、5とは別の場所にあるCPU1、2、3にくくりつけの構成になっているキーボード11、12、13やマウス12、2、32で制御する必要があり、

- (1) キーボードヤマウスは CP Uの台数だけ設置する必要があること。
- (2) キーボードヤマウスはそれだけ場所を必要 とすること。
- (3) CPUを制御するのにそれ対応のキーボードヤマウスの設備場所まで移動しなければならないこと。

などの経済性、操作性で問題点があった。

本発明は、上紀間題点を解決するために提案するものであり、その目的は、複数の信頼処理部よ

り少ない表示装置とそれらの表示装置に対応した キーボードやマウスから構成して、その表示装置 等の組数に対応した操作性の良いコンピュータシ ステムを経済的に構成できるようにする切替器を 提供することにある。

[課題を解決するための手段]

上記の目的を達成するための本発明の切替器の Broadは、

表示装置と入力機器の入出力端子を有する複数 超の情報処理部と、これより少ない組数の表示装 置と入力機器からなる周辺機器とを任意に接続し て、終周辺機器の最大組設までの数のコンピュー タシステムを構成可能にする切替器であって、

前記周辺機器に対応して設けられ前記情報処理 部から任意の一つを選択する切替スイッチボタン と、

複数の前記切替スイッチボタンからの選択信号 を受け同一の前記博報処理部が選択されたときに 一つの該選択信号に限定する規制回路と、

前記規制回路からの選択信号を受け前記局辺機

持開平 4-177525 (3)

器に対応して一つの情報処理部を選択する選択回 路と、

可記述択回路に対応する前記周辺機器が接続可能とする情報処理部に対応して投げられ該選択回路の信号を受けて該情報処理部の入出力端子を同時に該周辺複器に切り替え接続する切替回路と、

を具備することを情欲とする。

【作用】

[実施例]

以下、本発明の実施例を図面に基づいて詳細に 説明する。

てPU1. 2. 3の各画像信号出力増子で 1...

C 1... C 1... は、それぞれアナログスイッチ S 1... に 5 1.1. を通し、 画像信号増幅器 6 1 にまとめて接続された後に表示装置 4 に接続されるとともに、 同様にそれぞれアナログスイッチ S 1... に 5 1.1. を通し、 画像信号増幅器 6 2 にまとめて接続された後に表示装置 5 に接続される。 キーボード 4 1 は、冬ディジタルスイッチ S 1... に 5 1.1. S 1.1. S 1.1. O入力に共通に接続され、 それらの 各出力が C P U 1. 2. 3の名キーボード増に C 2... C 1.1. に接続されるとともに、 同様にキーに C 2... C 1.1. に 5 1.1. C 2.1. C 1.1. に 5 1.1. C 2.1 に 5 1.1. C 2.1. C 1.1. に 5 1.1. C 2.1. C 1.1. に 5 1.1. C 2.1. C 1.1. C 1.1

第1図は本発明の一実施例を示す棋成図である。 本奥施例は、表示装置4. 5 とキーボード41. 5 1 およびマウス 4 2、 5 2 から成る 2 組の周辺 装置と、 3 組のパーソナルコンピュータの情報処 理部(以下CPUと略記する)1.2.3を備え、 本実施例の切替器 6 をそれらの周辺装置とCPU 1. 2. 3の間に設けて、周辺装置の組数のパー ソナルコンピュータシステムを構成可能にする場 台を倒とする。上記構成において、CPU)、2. 3は、それぞれ画像信号端子C;;, C;;, C;,, と, キーポード始子C12, C23, C33と、マウス撮子 Cıs. Css. Cssとを有する。また、表示装置 4 またはら、キーボード41または51、マウス4. 2 または 5 2 の名周辺装置の紙には、それぞれ C PV1,CPV2.CPV3に対応した切替スイ ッチボタンB 41, B 42, B 43または B 51, B 52. B;を設ける。

次に、本実施例の切替器 6 の構成を説明する。 6 1. 6 2 は名表示装置に対応する画像信号増稿 器、 6 3. 6 4 は選択回路を構成する1 / 3 選択

ーボード 5 2 は、名ディジタルスイッチ S 121. S 1212の入力に共通に接続され、それらの各出力が C P U 1 . 2 . 3 の名キーボード第子 C 12. C 12. C 12. C 12. C 12. C 13. C 14. C 14. C 14. C 14. C 14. C 15. C 16. C 17. C 17.

切替器 6 の内部接続において、 D 11. D 12. D 12. は制御回路 6 3 に対する制御 線、 D 11. D 12. D 12. は制御回路 6 5 から制御回路 6 4 に対する制御線、 G 11. G 12. G 12. は制御回路 6 3 からアナログスイッチ S 111~ S 112 およびディジタルスイッチ S 121~ S 121 に対するゲート 開閉制御線、 G 21. G 22. G 21 はアナログスイッチ S 21

[~S:1:およびディジタルスイッチS:2:1~S:2:2 に対するゲート開閉制御線を示す。制御回路 6 5 は、同一のCPUに対して2組以上の周辺提器の 接続を防止する回路でおって、それぞれ切替スイ ッチボタンBィıとBょıの紅、B‹zとBょzの紐、B いとBの相を入力とし、それぞれ制御線Dハと D:1, D:2とD:1, D:1とD:1の比較を行い、い ずれの制御扱も働いていない時に切替スイッチボ タンB xi~B xsまたはB si~B siの切替信号を遜 **過ぎせ、制御回路63.64に入力する。制御回** 路 6 3 . 6 4 は、同一組の周辺機器に対し、 2 台 以上のCPUの接続を防止する回路であって、制 御回路63を例にとると、3本のゲート開閉制御 槇 G i i, G i s, G i s のうち、制御回路 6 5 を E 由 した切替スイッチボタンBィィ、Bィュ、Bィュの最新 の切替信号に対応したゲート開閉制御線[本だけ に切り替えて動作保持する。 制御回路 B4 もこの 制御回路63と同じ機能を有する。

以上のように構成した実施例の動作および作用を述べる。

CPU)とは接続できない。切替スイッチボタンB 4:で押すと制御回路 6 5 で制御線D 1:1の不動作を確認して対応したゲート開始制御線 G 2:を動作保持する。このゲート開始制御線 B 4に入り、ゲート開閉制御練 G 2:を介して閉じられたスイッチ S 2:1 S 2:2、S 2:2を通して周辺機器 5 . 5 1 . 5 2 と C P U 2 が接続される。以下、同核にして周辺機器で選択接続中でない C P U は、もう一方の超の B 2 複器 より 選択接続可能である。

以上に述べたように、本実施例ではスイッチの 係成を2×3の完全マトリックスとすることで、 任意の周辺機器と任意のCPUとを接続できる。 上記実施例において、例えば切替スイッテボタン Bil. アナログスイッチ5:11. ディジタルスイッテSil. Sileを設けない場合には周辺機器5、 51、52の超はCPU1とは接続できない。同 様に切替スイッチボタンBil. アナログスイッチ Silis ディジタルスイッテSilis Silisを設け ない場合には周辺機器4、41、42の組はCP

この時、表示装置 5. キーボード 5 1. マウス 5 2 の組の周辺機器より C P U 1 に接続するため、切替スイッチボタンB suを押しても、制御線 D su が動作中であるから制御回路 6 5 により拒否され、

U3とは接続できなくなる。したがって、本発明の他の構成として、特定の周辺概器を特定のCP U時とのみ接続したい場合には、上記マトリックス配置上で接続したい部分だけにアナログスイッチとディジタルスイッチによる切替回路を設け、 周辺機器側にはそのCPU群の一つを選択する切替成を実現することができる。

なお、本発明における表示装置にはディスプレイのほかに印刷や描画装置等を含み、入力複器にはキーボードやマウス以外の入力装置を当然含んでいる。このように、本発明はその主旨に沿って程々に応用され、程々の実施態様を取り得るものである。

[発明の効果]

以上の説明で明らかなように、本発明の切替器によれば、複数の情報処理部とこの情報処理部より少ない周辺協器の切替接続を二重接続することなく行うことができるので、

(1)表示装置。キーポード。マウス等の周辺故

特開平 4-177525 (5)

器は情報処理部の台数だけ設置する必要がないこ と。

- (2) 表示装置、キーポード、マウス等の周辺機 器はそれだけ場所を必要としないこと。
- (3) 情報処理部を制御するのにそれ対応のキーボードやマウス等の設置場所まで移動しなくてもよいこと。
- (4) 表示装置。キーボード、マウス等の周辺機器の同時切容により、表示内容と入力視器が情報 処置部と一致するため、誤操作防止が図れる。 などの利点が得られる。

4. 図面の簡単な説明

第)図は本発明の一裏施例を示す構成図、第 2 図は従来例の切替器を有するパーソナルコンピュ ータシステムの額成図である。

 1. 2. 3…情報処理部(CPU)、4.5…

 表示装置、6…切替器、41.51…キーボード、42.52…マウス、63.64…切替信号制御

 回路、65…制御回路、日本1.Bas. 日本1.Bst.

 Bsz. Bss…切替スイッチボタン、511.5111.

S₁₁₁, S₂₁₁, S₁₁₂, S₁₁₂, Tナログスイッチ、
S₁₂₁, S₁₂₂, S₁₂₃, S₁₂₄, S₁

代理人 志 贺 富 士





